

本の森通信

2023年9月号

夏休み前に借りた本は全部返しましょう！

図書館スタンプラリー実施中！全列ビンゴ目指して頑張っている人がたくさんいます。これまで自分が読んでいるジャンルを意識していなかった人も、この機会にいろいろなジャンルの本に出会おう。

前期図書委員会企画 図書館ビンゴ 10/13まで

ビンゴカードのマスには、8類の本といった各分類の本はもちろん、「人にすすめたい本」「友だちからすすめられた本」などいろいろな指定があります。普段同じような本ばかり読んでいるなあという人は、ぜひチャレンジしましょう！

本を読み終わったときに押すスタンプは、図書館のカウンターにあります。1ビンゴごとにプレゼントがあるので、ビンゴになった人はカードを図書館で見せてください。



9月27日(水) 全校一斉・先生による本の紹介

本の紹介を聞いた生徒の感想

「みえるとかみえないとか」 (ヨシタケシンスケ/アリス館)

情報化社会に生きている私たちは、相手の人間性を見ようとするのが減ってきていると思う。今回の本を通して、一人一人が持つ個性をより大切に、相手との交流を増やしていきたいと思った。(1年)



「つる子さんからの奨学金」 (まはら三桃/偕成社)

今の自分達に合う読んでみたくなる本だと思った。高校受験についての小説はいままで読んでことがないので、読んで、自分についても考えてみたい。(2年)



「エルマーのぼうけん」 (ルス・スタイル・ガネット/福音館書店)

この本は、保育園の頃に読み聞かせをしてもらっていましたが、でも、結構前なので、もう1回読んでみたいと思いました。エルマーは昔からずっと愛されていると分かりました。(2年)

「もしアドラーが上司だったら」 (小倉広/プレジデント社)

機能価値≠存在価値ではないということが分かり、今までより自分に自信が持てるようになりそうです。また、信用と信頼の違いもわかりました。信用される人になれるよう、基本的なところから手を抜かずに取り組んでいきたいです。(3年)



紹介された本は、図書館で展示中です。ぜひじっくり読んでください。